

アスファルト混合物報告書

2025年2月27日

様

製造会社

所在地 鳥取県米子市古豊千372

工場名 米子舗材株式会社

配合の設計条件				
混合物の種類別	骨材の最大寸法	基準密度	混合温度	
再生密粒度アスコン(13) (ECOフォームト)	13mm	2.373g/cm ³	140～160℃	
空隙率	飽和度	安定度	フロー値	
4.0%	76.5%	9.41kN	33 1/100cm	
D値				
—	回/mm			
使用材料及び配合表				
使用材料名	産地名	生産者名	配合率(%)	備考
ストレートアスファルト(80～100)	岡山県倉敷市水島	ENEOS(株)	2.16	OAC5.7
石粉	岡山県新見市足立	足立石灰工業(株)	0.9	
砕石5号	岡山県久米郡久米南町	坂田砕石工業(株)	—	
砕石6号			10.8	
砕石6号	鳥取県日野郡日野町	(株)ケイナン	—	
砕石7号	岡山県久米郡久米南町	坂田砕石工業(株)	9.0	
砕砂			—	
粗砂	島根県安来市広瀬町	(有)越野組	3.8	
細砂	鳥取県東伯郡北栄町	(有)永田商事	3.8	
再生骨材	鳥取県大山町羽田井	(有)きのえ	69.4	
再生用添加剤	—	三徳アスリード(株)	0.19	
※再生アスファルト配合率の計算				
旧As＝3.35% 再生用添加剤＝0.19% 新As＝2.16%				
最適As量(OAC)時の再生アスファルト配合率＝ 3.35+ 0.19 + 2.16 ＝ 5.70%				

アスファルト混合物配合設計報告書

混合物：再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト)

2025年 2月

米子舗材 株式会社

アスファルト混合物配合設計総括表

報告年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC0フォーマット)

報告者 村島 誠治

1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産地	材質
6号碎石	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
7号碎石	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
粗 砂	有限会社越野組	島根県安来市広瀬町	丘 砂
細 砂	有限会社きのえ	鳥取県東伯郡北栄町	丘 砂
再生骨材(13~0)	有限会社きのえ	西伯郡大山町羽田井	再生骨材
石 粉	足立石灰工業株式会社	岡山県新見市足立	炭酸カルシウム
ストレートAs80-100	ENEOS株式会社	岡山県倉敷市水島	舗装用石油As
RJ-1	三徳アスリッド株式会社	大阪府大阪市淀川区	再生用添加剤

2. 使用骨材の配合割合

材 料	6号碎石	7号碎石	粗 砂	細 砂	再生骨材(13~0)	石 粉						計
配合割合%	11.5	9.5	4.0	4.0	70.0	1.0						100.0

3. 合成粒度

ふるい目	53mm	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通過質量百分率%					100.0	99.2		67.7	45.1		26.3	16.0	10.3	7.4
粒度範囲	上限				100	100		70	50		30	21	16	8
	下限				100	95		55	35		18	10	6	4

4. 設計アスファルト量の決定

試験項目	最適AS量 (%)	密度 (g/cm³)	理論密度 (g/cm³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー ($\frac{1}{100}$ cm)	残留安定度 (%)
試験値	5.7	2.362	2.461	4.0	76.5	9.41	33	89.8
基準値	上限	—	—	6	85	—	40	—
	下限	—	—	3	70	4.90以上	20	75.0以上

※ マーシャル試験の結果はグラフより求めた値である

骨材試験成績表

目的 配合設計

試験年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト)

試験者 村島 誠治

ふるい分け試験

	ふるい目の開き	6号碎石	7号碎石	粗 砂	細 砂	再生骨材(石 粉 13~0)			
通過質量百分率%	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19	100.0				100.0			
	13.2	96.0	100.0			99.6			
	9.5								
	4.75	8.8	96.6	100.0	100.0	69.3			
	2.36	0.6	22.6	94.9	98.9	48.7			
	1.18								
	600 μm		0.4	42.8	83.5	29.0			
	300			22.6	40.8	17.8	100.0		
	150			9.5	6.6	12.3	98.1		
	75			1.8	1.1	9.1	88.4		

性状試験

試験項目		6号碎石	7号碎石	粗 砂	細 砂	再生骨材(石 粉 13~0)			
密 度	表 乾	2.671	2.661	2.530	2.536	—	—		
	か さ	2.651	2.633	2.487	2.486	—	—		
	見 掛	2.706	2.710	2.598	2.618	—	2.710		
吸水率 / 水分量 %		0.77	1.08	1.72	2.04	—	0.02		
すりへり減量 %		11.2	12.3	—	—	—	—		
安定性 %		3.9	4.7	2.2	2.3	—	—		
微粒分量試験 %		—	—	—	—	1.8	—		
軟石含有量 %		2.1	1.2	—	—	—	—		
扁平細長石片 %		3.8	—	—	—	—	—		
単位容積質量		1.566	1.565	1.511	1.545	—	—		
粘土塊量 %		0.08	0.03	—	—	—	—		
最大密度		—	—	—	—	2.497	—		
旧 A s 含有量 %		—	—	—	—	4.83	—		
旧 A s 針入度		—	—	—	—	—	—		
圧 裂 係 数		—	—	—	—	1.36	—		

アスファルト混合物の配合設計

目 的 配 合 設 計 (室内)

試験年月日 2025年 2月17日

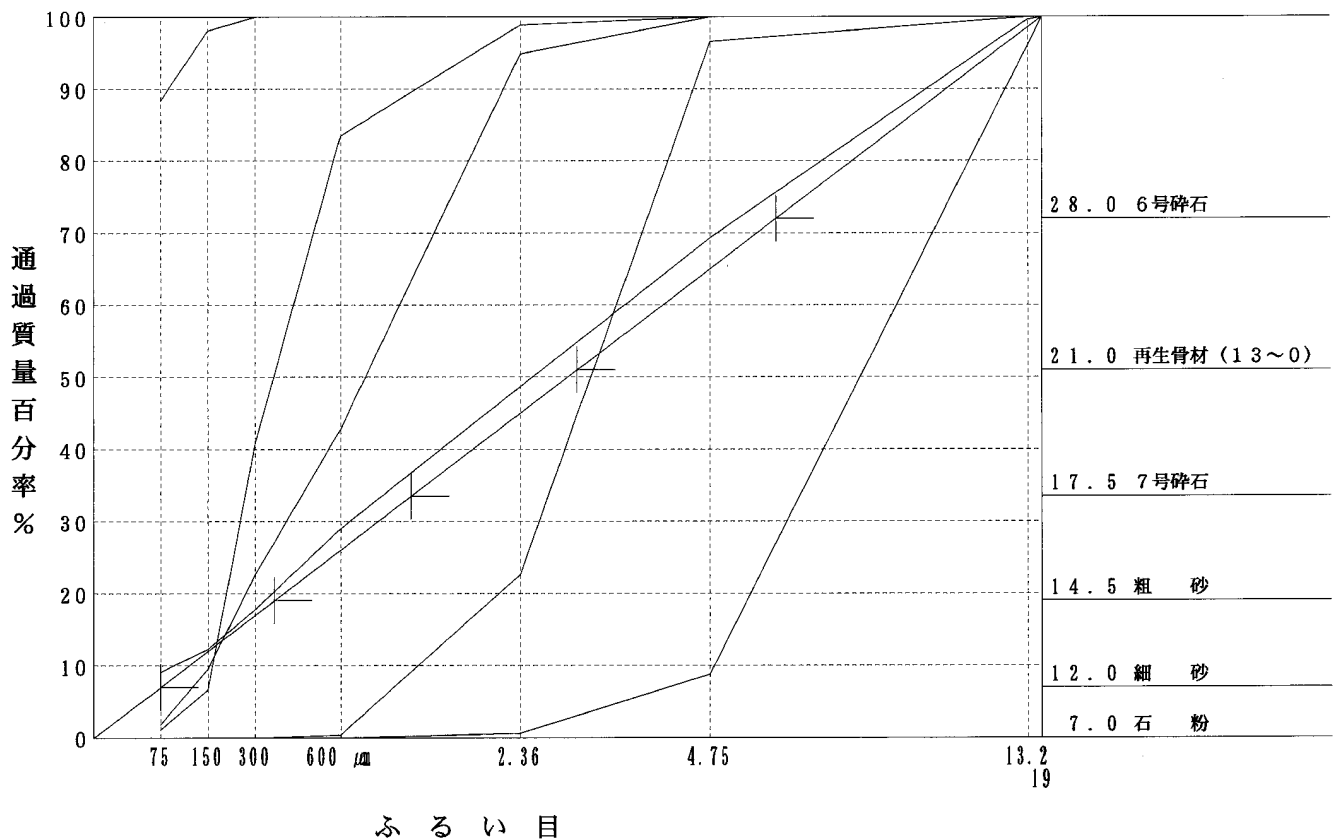
混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC0フォーマット)

試験者 村島 誠治

1. 使用予定骨材のふるい分け試験結果

フルイ目	使用予定骨材の通過質量百分率(%)							目標粒度
	6号碎石	7号碎石	粗 砂	細 砂	再生骨材(石粉13~0)			
53 mm								
37.5								
31.5								
26.5								
19	100.0				100.0			100.0
13.2	96.0	100.0			99.6			98.5
9.5								
4.75	8.8	96.6	100.0	100.0	69.3			65.0
2.36	0.6	22.6	94.9	98.9	48.7			45.0
1.18								
600 μm		0.4	42.8	83.5	29.0			26.0
300			22.6	40.8	17.8	100.0		17.0
150			9.5	6.6	12.3	98.1		12.0
75			1.8	1.1	9.1	88.4		7.0

2. 使用予定骨材の配合比決定図



骨材粒度設計（作図法）

目 的 配 合 設 計 (室 內)

混合物の種類	再生密粒度アスコン(13)(EC07フォームト [®])	試験者	村島 誠治
--------	--	-----	-------

3. 使用予定骨材の合成粒度 作図法

骨 材		6号碎石	7号碎石	粗 砂	細 砂	再生骨材 (13~0)	石 粉		
配 合 率 A %		28.0	17.5	14.5	12.0	21.0	7.0		
通過質量百分率 B %	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19	100.0				100.0			
	13.2	96.0	100.0			99.6			
	9.5								
	4.75	8.8	96.6	100.0	100.0	69.3			
	2.36	0.6	22.6	94.9	98.9	48.7			
	1.18								
	600 μm		0.4	42.8	83.5	29.0			
	300			22.6	40.8	17.8	100.0		
	150			9.5	6.6	12.3	98.1		
75			1.8	1.1	9.1	88.4			

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)								合 成	粒度範囲
5 3 mm									
3 7 . 5									
3 1 . 5									
2 6 . 5									
1 9	28.0				21.0			100.0	100 ~ 100
1 3 . 2	26.9	17.5			20.9			98.8	95 ~ 100
9 . 5									
4 . 7 5	2.5	16.9	14.5	12.0	14.6			67.5	55 ~ 70
2 . 3 6	0.2	4.0	13.8	11.9	10.2			47.1	35 ~ 50
1 . 1 8									
6 0 0 μm		0.1	6.2	10.0	6.1			29.4	18 ~ 30
3 0 0			3.3	4.9	3.7	7.0		18.9	10 ~ 21
1 5 0			1.4	0.8	2.6	6.9		11.7	6 ~ 16
7 5			0.3	0.1	1.9	6.2		8.5	4 ~ 8

[illegible][illegible]

骨材の粒径加積曲線図

目的 配合設計（室内）

試験年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC0フォームト')

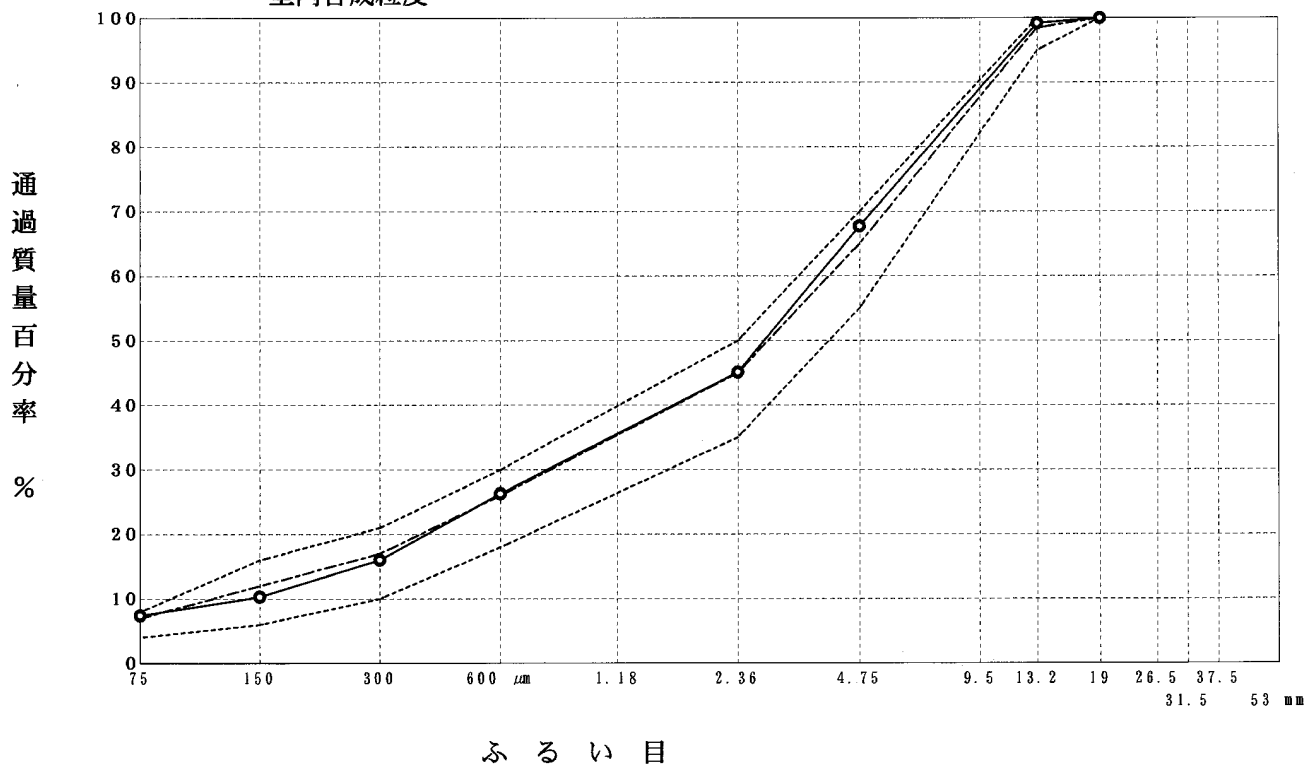
試験者 村島 誠治

5. 合成粒度

ふるい目	合 成 粒 度		目 標 粒 度	粒 度 範 囲
		室内合成粒度		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19		100.0	100.0	100
13.2		99.2	98.5	95 ~ 100
9.5				
4.75		67.7	65.0	55 ~ 70
2.36		45.1	45.0	35 ~ 50
1.18				
600 μm		26.3	26.0	18 ~ 30
300		16.0	17.0	10 ~ 21
150		10.3	12.0	6 ~ 16
75		7.4	7.0	4 ~ 8

6. 粒径加積曲線図

..... 粒度範囲
 - - - - - 目標粒度
 ——— 室内合成粒度



設計圧裂係数への調整（添加剤量）

目 的 配 合 設 計

試験年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC0フォーマット)

試 験 者 村島 誠治

試験項目	材料名	再生骨材 (13~0)				規格値
通過質量百分率 %	53 mm					
	37.5					
	31.5					
	26.5					
	19	100.0				
	13.2	99.6				
	9.5					
	4.75	69.3				
	2.36	48.7				
	1.18					
	600 μm	29.0				
	300	17.8				
	150	12.3				
	75	9.1				
旧アスファルト含有率 %		4.83				3.8 以上
圧裂係数 MPa/mm		1.36				1.70 以下
微粒分量試験による損失量 %		1.8				5 以下
最大密度		2.497				

再生添加剤の性状

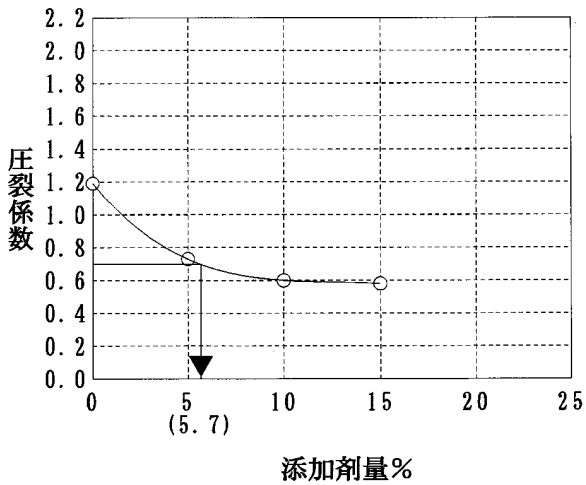
項 目	試 験 値	標準的性状
動 粘 度 (60℃) mm ² /s	82.1	80~1000
引 火 点 ℃	268	250以上
薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	1.07	2以下
薄膜加熱質量変化率 %	-0.68	±3%以内
密 度 (15℃) g/cm ³	0.925	

＜添加剤量と圧裂係数の関係＞

添加剤量	0.0	5.0	10.0	15.0
圧裂係数	1.19	0.73	0.60	0.58

設計圧裂係数	0.70	(規格値 0.60 ~ 0.80)
--------	------	-------------------

設計圧裂係数への調整



＜設計圧裂係数への調整結果＞

設計添加剤量	5.7
設計添加剤量 (対混合物)	0.20

マーシャル試験最適混合温度℃

マーシャル試験最適締固温度℃

理論最大密度計算表

目的配合設計

試験年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC07フォームト)

試 験 者 村 島 誠 治

骨 材 の 種 類	A 骨 材 の み					B (旧アスファルト含む)		
6号碎石	1 1 . 5					1 1 . 5 0		
7号碎石	9 . 5					9 . 5 0		
粗 砂	4 . 0					4 . 0 0		
細 砂	4 . 0					4 . 0 0		
再生骨材 (1 3 ~ 0)	7 0 . 0					7 3 . 5 5		
石 粉	1 . 0					1 . 0 0		
計	1 0 0 . 0					1 0 3 . 5 5		
設 計 針 入 度 1 / 1 0 m m								
旧 ア ス フ ァ ル ト 量 (外割%)						3 . 5 5		
再 生 用 添 加 剤 量 (対 ア ス フ ァ ル ト 量) %						5 . 7 0		
再 生 用 添 加 剤 量 (対 再 生 混 合 物) (外割%)						0 . 2 0		
再生アスファルト量 (%)	4 . 5	5 . 0	5 . 5	6 . 0	6 . 5			5 . 7
再生アスファルト量 (外割%)	4 . 7 1	5 . 2 6	5 . 8 2	6 . 3 8	6 . 9 5			6 . 0 4
旧アスファルト量 (外割%)	3 . 5 5	3 . 5 5	3 . 5 5	3 . 5 5	3 . 5 5			3 . 5 5
再 生 用 添 加 剤 量 (外割%)	0 . 2 0	0 . 2 0	0 . 2 0	0 . 2 0	0 . 2 0			0 . 2 0
新アスファルト量 (外割%)	0 . 9 6	1 . 5 1	2 . 0 7	2 . 6 3	3 . 2 0			2 . 2 9

理論最大密度計算表

目的 配合設計

試験年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC0フォーマット)

試験者 村島 誠治

①	②	③			④	⑤
骨 材 の 種 類	配合率(%)	骨 材 の 密 度 (g/cm ³)			計算に用いる密度	②/④
		表 乾	か さ	見 掛		
6号碎石	11.50	2.671	2.651	2.706	2.706	4.250
7号碎石	9.50	2.661	2.633	2.710	2.710	3.506
粗 砂	4.00	2.530	2.487	2.598	2.598	1.540
細 砂	4.00	2.536	2.486	2.618	2.618	1.528
再生骨材(13~0)	73.55				2.497	29.455
石 粉	1.00			2.710	2.710	0.369
RJ-1	0.20				0.925	0.216
Σ②=	103.75				Σ⑤=	40.864

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
アスファルト量 (%)	アスファルトの 密 度	⑥/⑦	Σ⑤	⑧+⑨	理論最大密度 (Σ②+⑥)/⑩
0.96	1.033	0.929	40.864	41.793	2.505
1.51		1.462	40.864	42.326	2.487
2.07		2.004	40.864	42.868	2.469
2.63		2.546	40.864	43.410	2.451
3.20		3.098	40.864	43.962	2.433
2.29		2.217	40.864	43.081	2.461

マシーナシヤル安定試験

目的的配合設計（室內）

試験年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC07ホームド')

誠治
村島
者
驗
試

試 驗 者 村 島 誠 治

アスファルトの種類	再生	ASTAS 80-100	アスファルトの密度 (A)	1.033	アスファルトの温度	160	℃	骨材の温度	190	℃
アスファルトの再生										

突固め温度	突固め温度	突固め回数	突固め回数	力計の係数 (B)	力計の係数 (B)
145	145	50	50	0.120	0.120

力計の係数 (B) 0.120

突固め温度	突固め温度	突固め回数	突固め回数	力計の係数 (B)	力計の係数 (B)
145	145	50	50	0.120	0.120

[illegible]

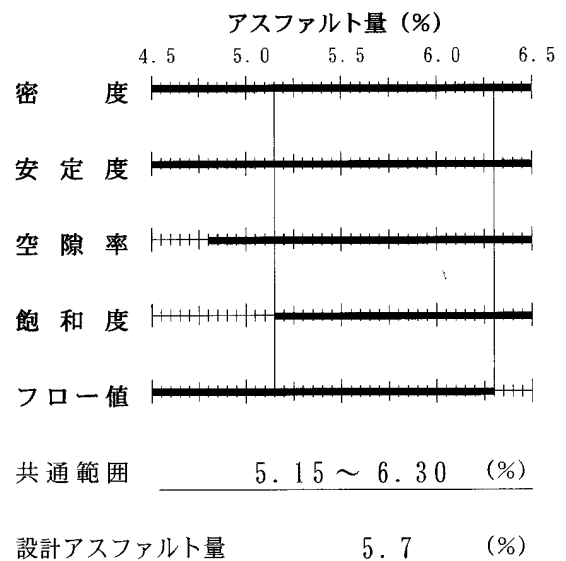
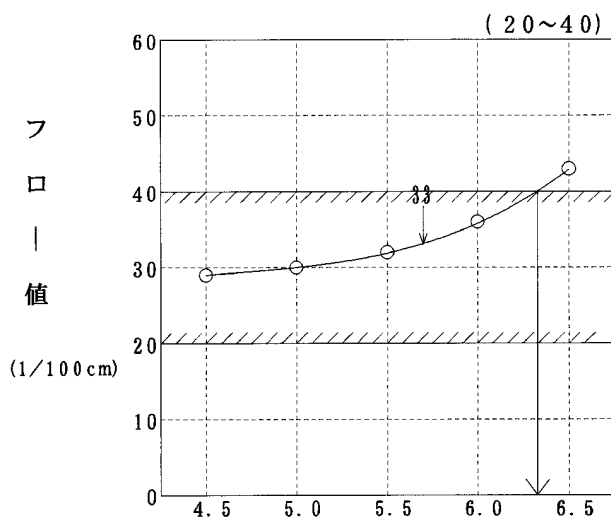
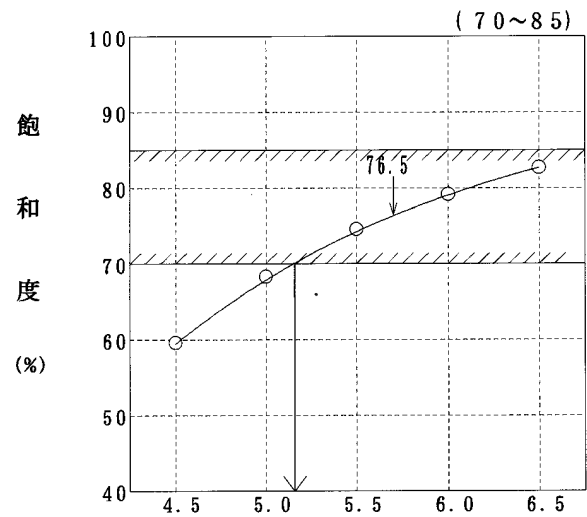
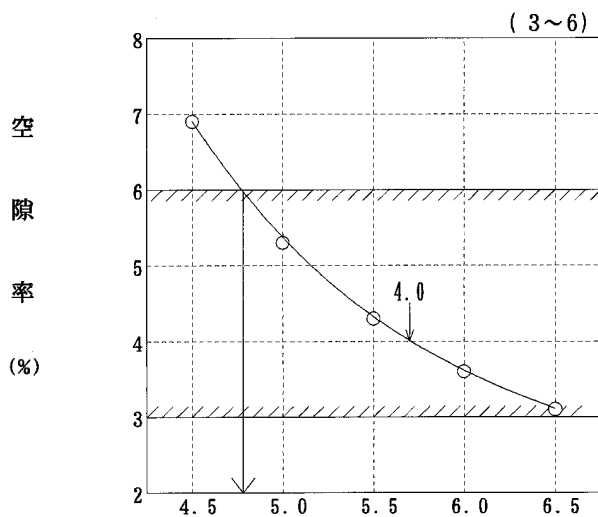
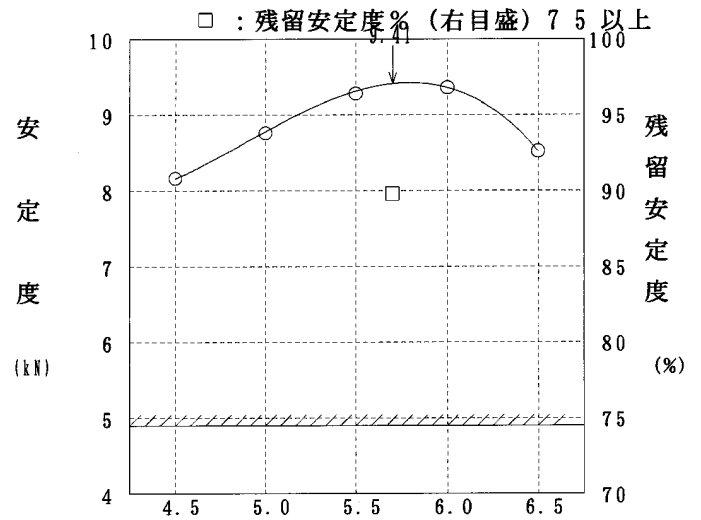
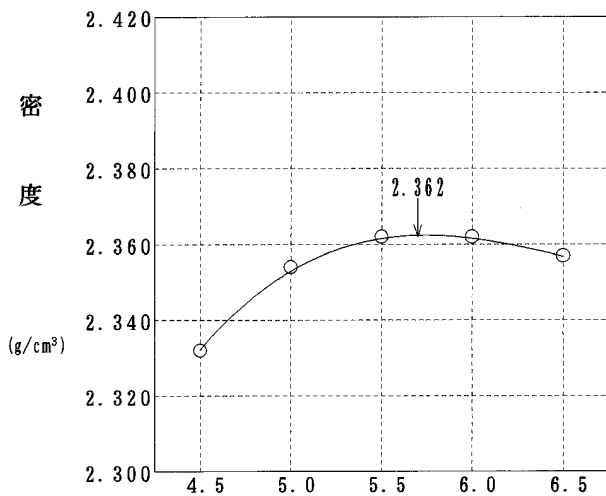
設計アスファルト量の決定

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC0フォーマット)

試験者 村島 誠治



残 留 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計 (残 留)

試験年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC07ォールト)

試験者 村島 誠治

アスファルトの種類 再生STAS80-100 アスファルトの温度 160 ℃ 骨材の温度 190 ℃

突 固 め 温 度 145 ℃ 突 固 め 回 数 50 回 力計の係数 (B) 0.120

供試体条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥		⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱		⑲	残留安定度(%)
							供試体寸法						平均	力 計 の み							安定度 (kN)			
							厚さ (cm)																	
							1	2														3		
標準	1											⑨ - ⑧	⑦/⑩×C											
		6.25	6.26	6.27	6.27	6.26	6.26	1217.8	704.8	1219.1	514.3	2.366												
	2		6.34	6.33	6.33	6.32	6.33	1214.5	702.7	1215.8	513.1	2.365												
	3		6.44	6.44	6.43	6.42	6.43	1211.9	699.3	1213.1	513.8	2.357												
水浸	平均																							
	1		6.43	6.42	6.44	6.43	6.43	1219.1	703.6	1220.4	516.8	2.357		2.363	2.461	13.0	4.0	17.0	76.5					
	2		6.35	6.34	6.36	6.34	6.35	1219.2	707.4	1220.4	513.0	2.375								70	8.40	41		
	3		6.26	6.27	6.28	6.26	6.27	1221.0	704.1	1222.2	518.1	2.355								73	8.76	45		
																				68	8.16	43		
	平均																							
	平均																							
	平均																							
	平均																							
	平均																							
	平均																							
	平均																							
	平均																							
																					</			

C:水温14.0℃での水の密度=0.9992

ホットビンの合成粒度

目的 配合設計（現場）

試験年月日 2025年 2月17日

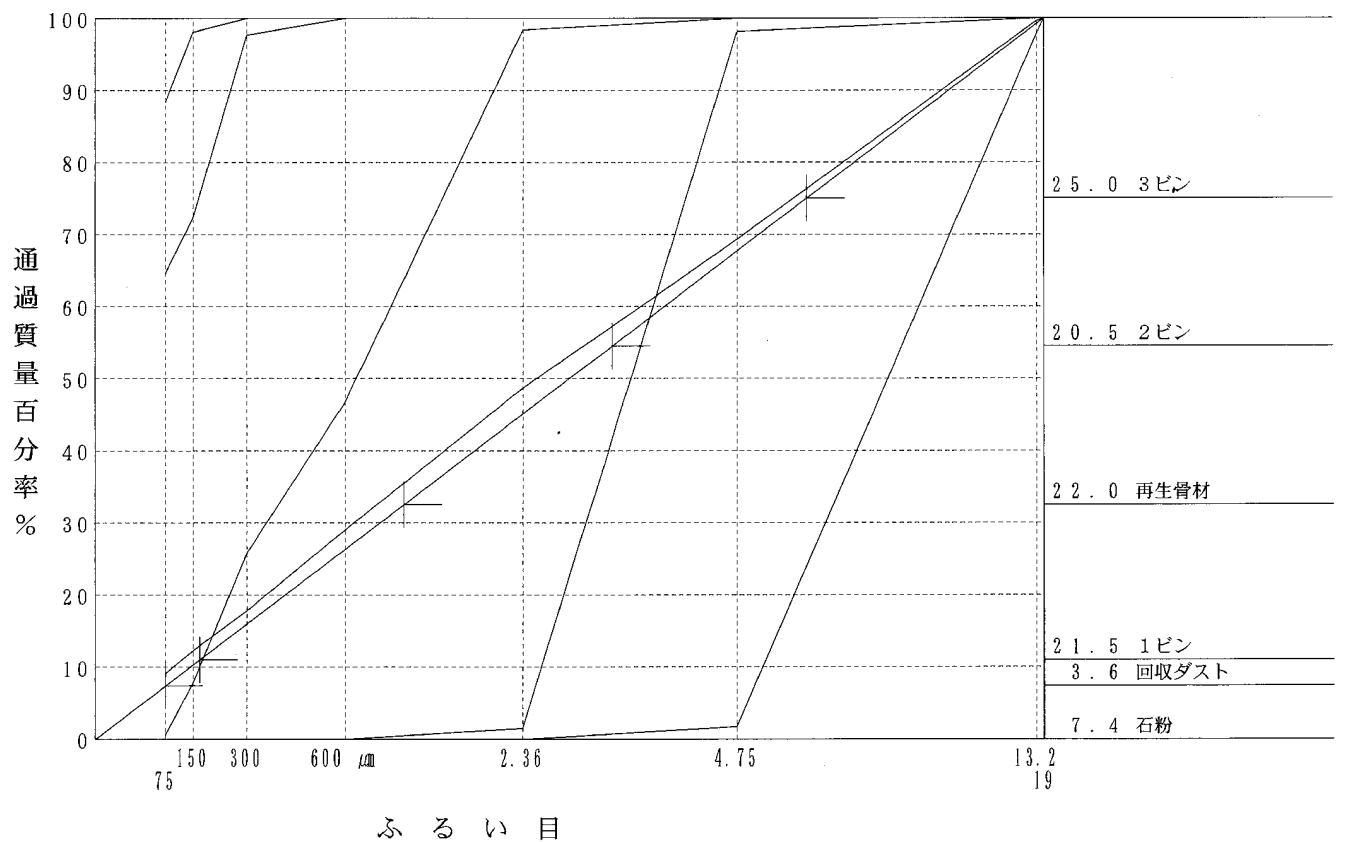
混合物の種類 再生密粒度アスコン(13) (EC0フォームト)

試験者 村島 誠治

1. 使用予定骨材のふるい分け試験結果

フルイ目	使用予定骨材の通過質量百分率(%)								設計粒度
	5ビン	4ビン	3ビン	2ビン	1ビン	再生骨材	回収ダスト	石粉	
53 mm									
37.5									
31.5									
26.5									
19			100.0			100.0			100.0
13.2			97.8	100.0		99.6			99.2
9.5									
4.75			1.7	98.2	100.0	69.3			67.7
2.36				1.5	98.4	48.7			45.1
1.18									
600 μm					46.7	29.0	100.0		26.3
300					25.8	17.8	97.7	100.0	16.0
150					7.8	12.3	72.3	98.1	10.3
75					0.6	9.1	64.6	88.4	7.4

2. 使用予定骨材の配合比決定図



ホットビンの粒径加積曲線図

目的 配合設計（現場）

試験年月日 2025年 2月17日

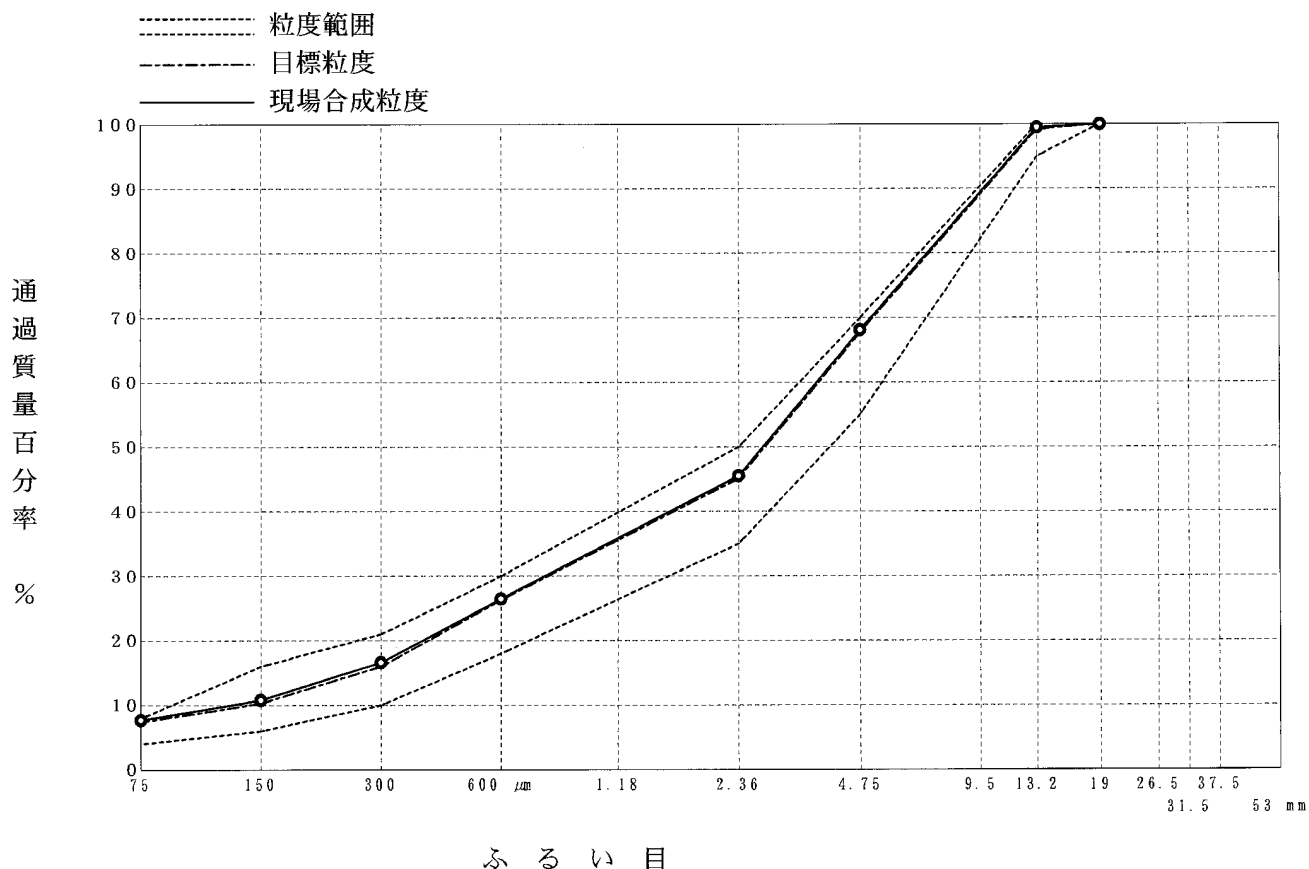
混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC0フォーマット)

試験者 村島 誠治

5. 合成粒度

ふるい目	合 成 粒 度		目 標 粒 度	粒 度 範 囲
		現場合成粒度		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19		100.0	100.0	100
13.2		99.5	99.2	95 ~ 100
9.5				
4.75		68.1	67.7	55 ~ 70
2.36		45.5	45.1	35 ~ 50
1.18				
600 μm		26.5	26.3	18 ~ 30
300		16.6	16.0	10 ~ 21
150		10.8	10.3	6 ~ 16
75		7.7	7.4	4 ~ 8

6. 粒径加積曲線図



理論最大密度計算表									
目的配合設計					試験年月日 2025年 2月17日				
混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC0フォームト)					試験者 村島 誠治				
骨材の種類		A 骨材のみ			B (旧アスファルト含む)				
6号碎石		11.5			11.50				
7号碎石		9.5			9.50				
粗 砂		4.0			4.00				
細 砂		4.0			4.00				
再生骨材(13~0)		70.0			73.55				
石 粉		1.0			1.00				
計		100.0			103.55				
設計針入度 1/10mm									
旧アスファルト量 (外割%)					3.55				
再生用添加剤量 (対アスファルト量) %					5.70				
再生用添加剤量 (対再生混合物) (外割%)					0.20				
再生アスファルト量 (%)	5.7								
再生アスファルト量 (外割%)	6.04								
旧アスファルト量 (外割%)	3.55								
再生用添加剤量 (外割%)	0.20								
新アスファルト量 (外割%)	2.29								

理 論 最 大 密 度 計 算 表

目的配合設計

試験年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC0フォームト)

試 験 者 村 島 誠 治

①	②	③			④	⑤
骨 材 の 種 類	配合率(%)	骨 材 の 密 度 (g/cm ³)			計算に用いる密度	②/④
		表 乾	か さ	見 掛		
6号碎石	11.50	2.671	2.651	2.706	2.706	4.250
7号碎石	9.50	2.661	2.633	2.710	2.710	3.506
粗 砂	4.00	2.530	2.487	2.598	2.598	1.540
細 砂	4.00	2.536	2.486	2.618	2.618	1.528
再生骨材(13~0)	73.55				2.497	29.455
石 粉	1.00			2.710	2.710	0.369
RJ-1	0.20				0.925	0.216
Σ②=	103.75				Σ⑤=	40.864

[illegible]

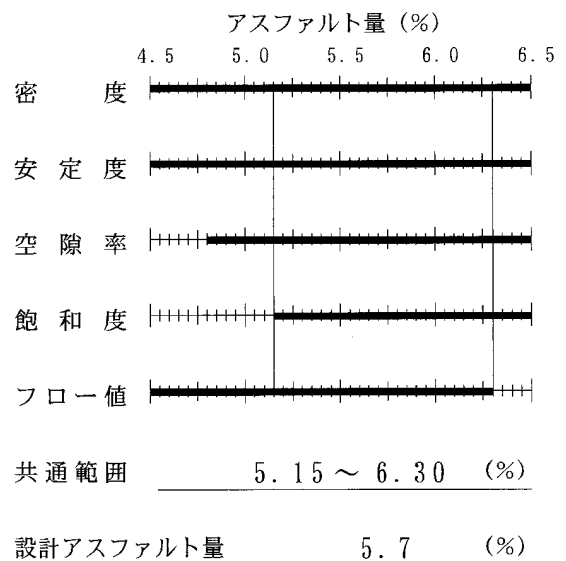
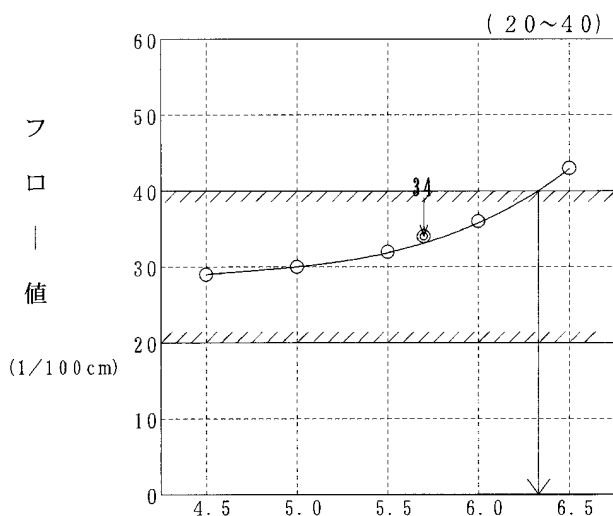
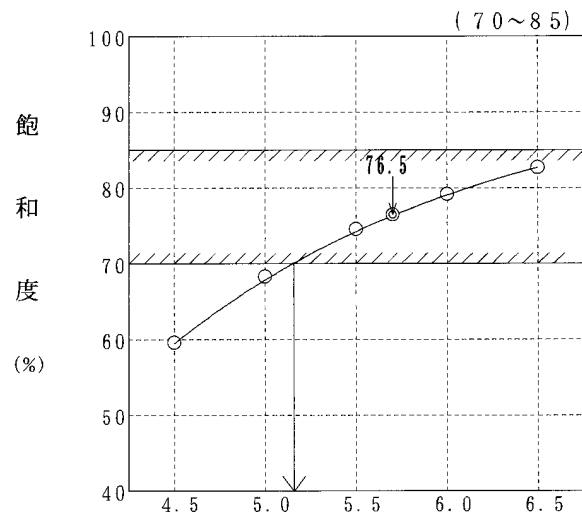
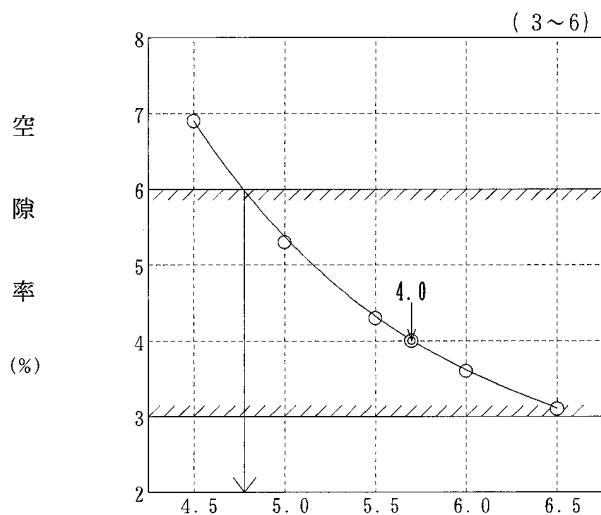
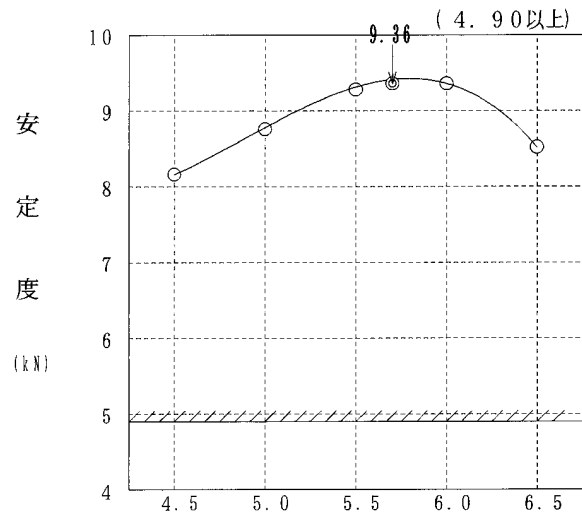
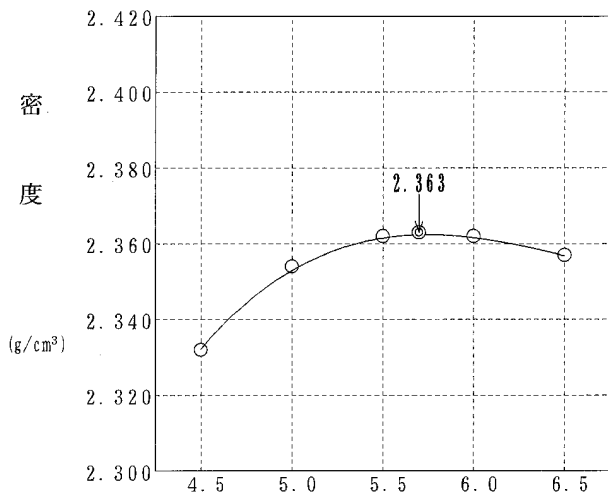
マーシャル安定度試験

目的 配合設計 (現場)

試験年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13) (EC0フォームト')

試験者 村島 誠治



アスファルト量 (%)

現場 マーシャル安定度試験 (中温化)

目的 配合設計 (現場 中温化)

試験年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC0フォーマット)

試験者 村島 誠治

アスファルトの種類 再生STAs80-100

アスファルトの密度(A) 1.033 アスファルトの温度 160℃

骨材の温度 190℃

突固め温度 -℃

突固め回数 50回

力計の係数(B) 0.120 kN

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		⑭	⑮	⑯
		突固め温度(℃)	供試体平均厚(cm)	空中質量(g)	水中質量(g)	表乾質量(g)	容積(cc)	密度(かさ)	理論(論)	ア容スファルト積(%)	空隙率(%)	骨材空隙率(%)	飽和度(%)	安定力計の読み	安定度(度)	安定度(kN)	フロ―値(1/100cm)	安定度/フロ―(kN/m)
							⑤-④	③/⑥		①×⑦(A)		⑨+⑩	⑫/⑬×100		(B)×⑭			
標準	1		6.34	1220.1	709.7	1221.3	511.6	2.385						77	9.24	33		
	2	145	6.27	1219.6	706.1	1220.9	514.8	2.369						87	10.44	29		
	3		6.43	1215.9	704.4	1217.2	512.8	2.371						73	8.76	32		
		As量5.7																
	平均							2.375	2.461	13.1	3.5	16.6	78.9		9.48	31	3058	
標準	4		6.41	1218.0	704.7	1219.1	514.4	2.368						74	8.88	30		
	5	135	6.31	1212.6	702.9	1213.7	510.8	2.374						86	10.32	34		
	6		6.44	1220.4	704.4	1221.7	517.3	2.359						76	9.12	33		
		As量5.7																
	平均							2.367	2.461	13.1	3.8	16.9	77.5		9.44	32	2950	
標準	7		6.27	1219.5	702.7	1221.0	518.3	2.353						71	8.52	37		
	8	125	6.36	1216.9	706.3	1218.2	511.9	2.377						87	10.44	28		
	9		6.38	1214.6	702.4	1216.0	513.6	2.365						78	9.36	35		
		As量5.7																
	平均							2.365	2.461	13.0	3.9	16.9	76.9		9.44	33	2861	
標準	10		6.40	1218.8	700.7	1220.0	519.3	2.347						78	9.36	40		
	11	115	6.34	1220.3	701.8	1221.7	519.9	2.347						69	8.28	44		
	12		6.27	1222.3	700.1	1223.8	523.7	2.334						84	10.08	35		
		As量5.7																
	平均							2.343	2.461	12.9	4.8	17.7	72.9		9.24	40	2310	
	平均																	

$$\textcircled{10} = (1 - \textcircled{7} / \textcircled{8}) \times 100$$

現場 混合物の突固め温度下限値の確認

目的 配合設計 (現場 中温化)

試験年月日 2025年 2月17日

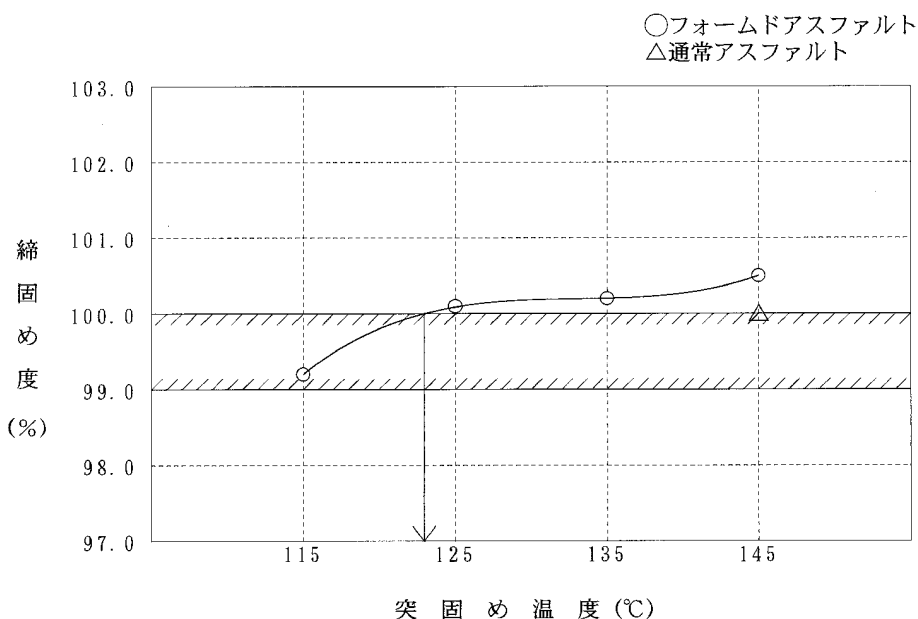
混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC0フォームト)

試験者 村島 誠治

フォームドアスファルト使用時の混合物にて、突固め温度を変化させた供試体密度を測定し、締固め度から突固め温度下限値を決定するとともに、混合物性状確認を行う。

締固め度は、フォームドアスファルト未使用の通常アスファルト時に決定した突固め温度で作製した供試体の密度を基準密度とする。

項目				理論密度 (g/cm^3)	密度 (g/cm^3)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー値 ($1/100\text{cm}$)	締固め度 (%)
中温化	突固め温度	As量	規格	—	—	3~6	70~85	4.90以上	20~40	—
未使用	145℃	5.7%		2.461	2.363	4.0	76.5	9.36	34	100.0
使用	145℃			2.461	2.375	3.5	78.9	9.48	31	100.5
使用	135℃			2.461	2.367	3.8	77.5	9.44	32	100.2
使用	125℃			2.461	2.365	3.9	76.9	9.44	33	100.1
使用	115℃			2.461	2.343	4.8	72.9	9.24	40	99.2



グラフより、

締固め度100.0%が得られる突固め温度は123℃となった。

締固め度99.0%~100.0%が得られる突固め温度は115℃~123℃となった。

現場 突固め下限温度でのマーシャル安定度試験

目的 配合設計 (現場 突固め下限温度)

試験年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(EC0フォーマット)

試験者 村島 誠治

アスファルトの種類 再生STAs80-100

アスファルトの密度(A) 1.033 アスファルトの温度 160℃

骨材の温度 170℃

突固め温度 125℃

突固め回数 50回

力計の係数(B) 0.120 kN

試験 条件	供試体 番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ ⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ ⑭		⑮	⑯
		アス ファ ルト 量 (%)	供 試 体 平 均 厚 (cm)	空 中 質 量 (g)	水 中 質 量 (g)	表 乾 質 量 (g)	容 積 (cc)	密 度 か さ (g/cm³)	理 論 (g/cm³)	ア容 ス フ ア ルト 積 (%)	空 隙 率 (%)	骨 材 間 隙 率 (%)	飽 和 度 (%)	安 定 度 力 計 の 読 み (kN)	安 定 度 安 定 度 (kN)	フ ロ ー 値 1/100 cm	安 定 度 フ ロ ー (kN/m)
							⑤-④	③/⑥ × (C)		①×⑦ (A)		⑨+⑩	⑪/⑫×100		(B) × ⑭		
標準	1	5.7	6.41	1214.7	701.6	1216.1	514.5	2.359						80	9.60	35	
	2		6.28	1215.4	704.2	1216.8	512.6	2.369						77	9.24	31	
	3		6.31	1212.4	700.3	1213.8	513.5	2.359						78	9.36	36	
	平均							2.362	2.461	13.0	4.0	17.0	76.5		9.40	34	2765
	平均																
	平均																
	平均																

(C) : 水温14.0℃での水の密度 ⑩ = (1 - ⑦/⑧) × 100
= 0.9992

現場配合の決定

目的 配合設計

試験年月日 2025年 2月17日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)・(EC0フォームト)

試験者 村島 誠治

1バッチ 1000 kg

	骨材配合比(%)	外割配合比(%)	内割配合比(%)	1バッチ質量(kg)	骨材累加質量(kg)
1 ビン	10.0	10.00	9.43	94	94
2 ビン	8.0	8.00	7.54	75	169
3 ビン	10.5	10.50	9.91	99	268
再生骨材	70.0	73.55	69.36	694	962
回収ダスト	0.5	0.50	0.47	5	967
石粉	1.0	1.00	0.94	10.0	10.0
旧アスファルト		(3.55)	(3.35)		
再生用添加剤		0.20	0.19	1.9	1.9
新アスファルト		2.29	2.16	21.6	21.6
合計	100.0	106.04	100.00	1000.5	1000.5

混合時間・・・・・・・・・・ドライタイム 20秒

ウェットタイム 30秒